

遊漁規則の認可について

漁業法（昭和 24 年法律第 267 号）第 170 条第 1 項の規定により、次のとおり遊漁規則を認可したので、同条第 7 項の規定により次のとおり公示します。

十内共第1号（十和田湖）

項目		内容		
漁業権者の名称及び住所	名称	十和田湖増殖漁業協同組合		
	住所	青森県十和田市大字奥瀬字十和田湖畔休屋 486 番地		
認可年月日		令和6年1月1日		
漁業権の免許番号		十内共第1号		
遊漁についての制限事項	漁具漁法の制限	次の表の左欄に掲げる魚種を対象とする遊漁はそれぞれ右欄の漁具・漁法の統数の範囲内とする。		
		魚種	漁具・漁法の統数	
		ひめます、こい、ふな、さくらます	手釣り、さお釣り 1 人当たり 2 本	
		えび	せん 1 人当たり 10 個	
		こい及びふなを対象とする遊漁には、船舶を使用してはならない。		
遊漁期間	次の表の左欄に掲げる魚種の遊漁期間はそれぞれ右欄のとおりとする。			
	魚種	遊漁期間		
	こい、ふな	7 月 21 日から 9 月 30 日まで		
	ひめます	船釣り	10 月 1 日から 12 月 31 日まで、翌年 4 月 1 日から同年 6 月 20 日まで及び同年 7 月 11 日から同月 20 日まで	
		岸釣り	10 月 1 日から翌年 6 月 20 日まで及び同年 7 月 11 日から同月 20 日まで	
さくらます	船釣り	6 月 1 日から同月 20 日まで、7 月 11 日から同月 20 日まで及び 12 月 1 日から同月末日まで		
	岸釣り	6 月 1 日から同月 20 日まで、7 月 11 日から同月 20 日まで及び 12 月 1 日から翌年 2 月末日まで		
		遊漁時間は、日出から日没までとする。		
遊漁区域		湖の東側の青森県十和田市大字奥瀬字十和田湖畔字樽部の字樽部キャンプ場に組合が建設した標柱（西北方向）から湖の北側の秋田県鹿角郡小坂町十和田湖字ムジンを経て湖の南側の青森県十和田市大字奥瀬字十和田湖畔休屋の御前ヶ浜に組合が建設した標柱（正西方向）までの湖岸及び沖合 300 メートル以内の区域		
禁止区域及び期間		次の表の左欄に掲げる区域において、右欄に掲げる期間中は遊漁をしてはならない。		
		区域	期間	
		秋田県鹿角郡小坂町十和田湖一夜島突端と同町十和田湖金木森突端を結んだ直線以南の区域	10 月 1 日から同月 31 日までの間で組合が定めて公表する期間	
全長制限		次の表の左欄に掲げる魚種は、右欄に掲げる全長以下のものを採捕してはならない。		
		魚種	全長	
		ひめます、さくらます	15 センチメートル	
尾数制限		次の表の左欄に掲げる魚種は、1 人 1 日当たりそれぞれ右欄に掲げる尾数を超えて保持してはならない。		
		魚種	尾数	
		ひめます	20 尾	
		さくらます	15 尾	
遊漁料の額及び納付方法	遊漁料	1 手釣り又はさお釣りによる遊漁の場合		
		魚種	遊漁料	
		こい、ふな	1 日 250 円 1 年 2,500 円	
		ひめます	船釣り	1 日 2,400 円
			岸釣り	1 日 1,200 円
		さくらます	船釣り	1 日 2,600 円
			岸釣り	1 日 1,300 円
ただし、遊漁者が未就学の幼児のときは無料、小中学校生徒又は肢体不自由者のときは上表				

			に掲げる額の2分の1に相当する額とする。				
			2 せんを使用してする遊漁の場合				
			<table><tr><td>魚種</td><td>遊漁料</td></tr><tr><td>えび</td><td>1日1,000円</td></tr></table>	魚種	遊漁料	えび	1日1,000円
魚種	遊漁料						
えび	1日1,000円						
	納付方法	次に掲げる場所又は組合が指定するオンラインシステムにおいて納付しなければならない。ただし、当該遊漁をする場所において漁場監視員に納付することができる。 (1) 十和田湖増殖漁業協同組合事務所（青森県十和田市大字奥瀬字十和田湖畔休屋 486） (2) 十和田湖ふ化場（秋田県鹿角郡小坂町十和田湖字生出） (3) 東北つばめ石油販売(株) 十和田湖畔給油所（秋田県鹿角郡小坂町十和田湖字休平 64-6） (4) さくら荘（秋田県鹿角郡小坂町十和田湖字大川岱 4） (5) 春山荘（青森県十和田市大字奥瀬字十和田湖畔休屋 5-1）					
遊漁承認証に関する事項		1 遊漁者は遊漁承認証を携帯しなければならない。 2 遊漁承認証は他人に貸与してはならない。					
遊漁に際し守るべき事項		1 漁場監視員の要求があったときは、遊漁承認証を提示しなければならない。 2 船釣りをする場合には、組合が貸与した標識を見やすい場所に掲げなければならない。 3 遊漁に際しては、漁場監視員の指示に従わなければならない。 4 遊漁に際しては、相互に適当な距離を保ち、漁業者及び他の遊漁者の迷惑となる行為をしてはならない。 5 組合が漁業法に基づく報告等のために行う採捕量の調査等に協力するものとする。					
漁場監視員に関する事項		1 漁場監視員は、遊漁者に対し、この規則の遵守に関し必要な指示を行うことができる。 2 漁場監視員は、漁場監視員証を携帯し、かつ、漁場監視員であることを表示する腕章をつけるものとする。					
違反者に対する措置に関する事項		遊漁の中止を命じ、以後の遊漁を拒否することができる。この場合遊漁料の払い戻しは行わない。					
施行の日		令和6年1月1日					